



現在日本では、3人に1人か でも、がんは決して、怖い病気ではありません

現在日本では、がんによる死者数は年間30万人を超え、死亡原因の1位を占めています。愛知県でも、がんによる死者は年々増加し、昭和55年(1980年)以降、県民の死亡原因の第1位となっています。

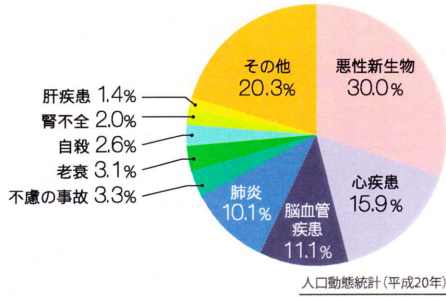
また、男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんになると言われています。

今後、ますます高齢化が進み、がんになる人はこれからも増え続けると考えられます。

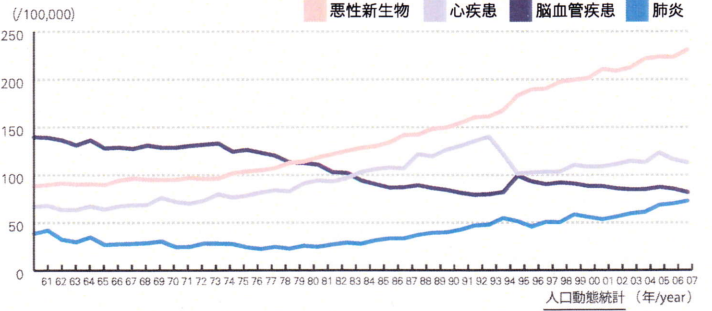
でも、がんは決して、怖い病気ではありません。

がんは、診断・治療の技術の進歩により、早期に発見し治療を行えば、完治することが困難でない病気といえるのです。

【死亡の原因(全国)】



【愛知県の死因別死亡率の推移】

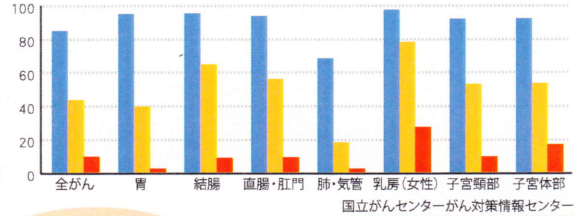


では、がんを早く見つけるにはどうすればいいのか……?

それは、がん検診を定期的に行うことです。がんは初期の段階で発見し、治療を行うことで、治る確率が高くなります。がんを初期の段階で見つけるには、がん検診はとても有効なのです。



【進行度別5年生存率】



早く見つけてあげれば
がんも治る
病気なんだ!

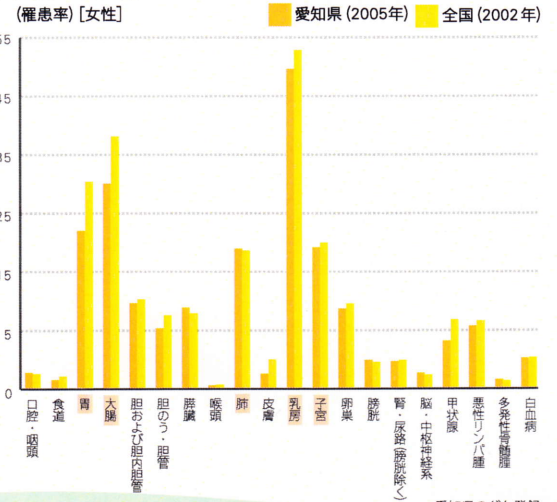
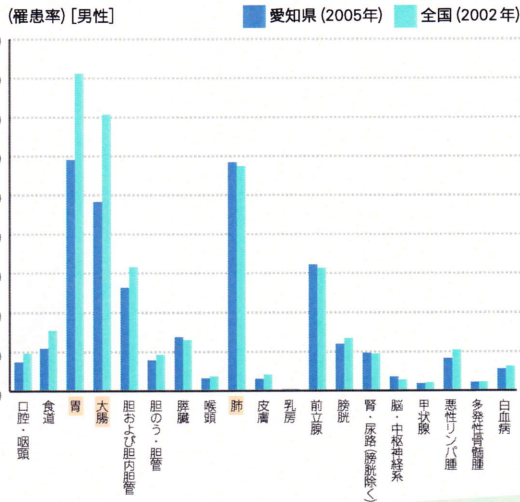
がんの進行度



がんは体の様々な部位に発生しますが、男性では、胃がん、肺がん、大腸がんにかかる人が多く、女性では、加えて、女性に特有のがんといえる乳がん、子宮がんも

多くなっています。でも、安心してください。この5つのがんには、がん検診が有効であることが、科学的に証明されているのです。

【部位別がん年齢調整罹患率(人口10万対)】



愛知県のがん登録